

令和7年2月吉日

じもっと基金賛同者 各位

山谷地域振興協議会

じもっと基金への寄付御礼について

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当協議会活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「第2回じもっと基金」参加にあたり、共感・賛同をいただきまして誠にありがとうございます。

山谷地区は5区、6区、7区の行政区からなる120戸ほどの集落で、名勝厳美溪より西へ7キロの地域にある山間地であります。その中で農業、教育、体育、福祉、防災などの各種関係者が一堂に会し地域課題を協議しているのが当協議会であります。

今回基金に参加したのは、旧山谷小学校の校舎を現在「厳美市民センター山谷分館」として利用している施設を市では、地元で「無償譲渡」する方針を打ち出しております。同施設は地域住民の拠り所となっておりますが、無償譲渡されても管理費が膨大で地元で負担できるものではなく、いかにすべきか悩んでおりました。

今後の施設運営を協議している中で「いちのせき市民活動センター」「厳美市民センター」の協力をいただき、平成20年6月に発生した岩手内陸地震で「避難所」として活用された経緯もある事から「震災伝承の拠点」としてはどうかと提案され、少しでも施設の有効活用が出来て、今後公共的にも活用されるのであればとの思いから活動を開始しました。

現在手探りで当時の写真や文書を集め、更に県立工業高校の「技術、知識を地域に繋げるプロジェクト」の協力を得ながら、震災遺構の橋の模型やドローンから撮影した写真等を展示するなど様々な角度から施設の充実を図っているところであります。

今回皆様からいただいた基金は、パンフレットの作成、ツアーガイドの育成、備品の整備に充てたいと思っております。まだ道半ばですが基金を有効活用してまいります。この度は本当にありがとうございました。今後とも宜しくお願ひ申し上げ御礼と致します。

敬具